

記者発表（資料配付）				
月／日 （曜日）	担当課・班	T E L	発表者名 （担当係長名）	同時発表（配布）先
10／4 （木）	文化財課 文化財班	（内線）5763 （外線）078-362-3784	課長 山下史朗 副課長兼班長 熊谷久男	古代歴史文化協議会（兵庫 県ほか13県） 東京都江戸東京博物館

企画展「玉 —古代を彩る至宝—」の開催

1. 発表概要

古代歴史文化にゆかりの深い兵庫県を含む14県は個々の地域研究だけでは見えにくかった日本の古代史全体の大きな流れを解明するために古代歴史文化協議会（会長：島根県知事 溝口善兵衛）を平成26年度に設立し、以後3年半にわたり「古墳時代の玉類」をテーマに調査研究をおこなってまいりました。

このたび、その研究成果を発表する展覧会を次のとおり東京都江戸東京博物館で開催いたしますので、開会行事へのご出席とともに、広くご周知いただきますようお願いいたします。

なお、14もの県が連携して調査研究を進め、展覧会を開催するのは過去に例のない初めての試みとなります。

古代歴史文化協議会

※構成14県：埼玉県、石川県、福井県、三重県、**兵庫県**、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、福岡県、佐賀県、宮崎県

2. 展覧会の概要

- (1) 会場 東京都江戸東京博物館 5階企画展示室（東京都墨田区横網1-4-1）
- (2) 会期 平成30年10月23日（火）～12月9日（日） ※月曜日休館
- (3) 主催 東京都、東京都江戸東京博物館、
古代歴史文化協議会（以下「協議会」という。）

(4) 展覧会の内容

- ・協議会の研究成果を中心に、古代の玉の歴史的意義をわかりやすく展示
- ・協議会を構成する14県から、各県を代表する玉類を出品、展示
- ・国宝1件、重要文化財8件を含む計74件（12,197点）で構成

- (5) 料金 東京都江戸東京博物館の常設展観覧料で観覧可能

(6) 関連行事

毎週土曜日と日曜日に展示室内で各県の研究担当者による連続ミニ講座を開催

（各県1回ずつ計14回：午後5時から40分間／回）

兵庫県担当 展示解説：11月15日（木）～17日（土）

ミニ講座：11月17日（土）

3. 展示構成と主な展示品

<展示構成>

第1章 玉の源流

旧石器時代末から出現した玉は、動物の牙や骨を素材としていましたが、縄文時代にはヒスイを加工し、弥生時代にはガラスをはじめ多彩な材料となり、有力者の墓に納める風習が始まります。

第2章 玉作りの技術

北陸、山陰、関東では、玉に適した石材が豊富に産出され、加工技術が発達しました。古墳時代には大和に大規模な工房がおかれ、量産体制が整います。6世紀には出雲に集約され、唯一の生産地となります。

第3章 玉飾りの世界

古墳時代は最も玉が珍重された時代で、各地の古墳には玉で美しく飾った有力者が葬られました。祭りの場でも神秘的な力をもつ玉が使われました。

第4章 海を渡る玉

日本で製作されたと考えられるヒスイ製勾玉が朝鮮半島の王陵から出土するなど、玉は海を渡りました。一方、古墳時代には、中国や朝鮮半島から運ばれた玉が日本でも使われました。

①藤ノ木古墳（奈良県）出土「と きん う つ ろ だ ま銀製鍍金空玉」

（国宝、文化庁蔵）

中が空洞になった銀製の玉に、金が鍍金されている。



②伝湯梨浜町（鳥取県）出土「こもち子持勾玉」

（国指定重要文化財、鳥取県立博物館蔵）

大きな勾玉を二つ並べ、それぞれに、さらに小さな勾玉を貼り付けたような形に原石を削り出してつくられている。



③車駕之古址古墳（和歌山県）出土「し ゃ か の こ し金製勾玉」

（和歌山市教育委員会蔵）

金で製作された勾玉で、当時の輝きをとどめている。多様な勾玉の姿がうかがえる資料である。



4. 兵庫県内からの主な展示品

(調査研究については、兵庫県立考古博物館が担当)

- ①^{しもおおたに}下大谷1号墳(神戸市)出土「青銅製勾玉付頸飾」一連(兵庫県立考古博物館蔵)

青銅製の勾玉を中心に^{へきぎよく}碧玉製管玉・ガラス製小玉を組み合わせる。大刀等の武器が副葬されており、男性が身につけていたものと推定される。



- ②^{そうこうえんぼん うすだま}住吉東古墳(神戸市)出土「滑石製双孔円板・白玉」一括(神戸市教育委員会蔵)

柔らかい滑石を用いた玉で、棺を埋めた土の中や、古墳の盛土内から見つまっている。玉類が副葬品としてだけでなく、古墳築造時の祭祀にも使用されたことがわかる希少な例である。

- ③^{すいしよくつき}宮山古墳(姫路市)出土「金製垂飾付耳飾」一对(国指定重要文化財、姫路市教育委員会蔵)

朝鮮半島系の特徴が多く認められる円墳から出土した耳飾りである。水滴形をした板が、鎖によって環から垂れ下がる。

精巧なつくりやデザインは朝鮮半島の技術で作されている。



- ④^{すせんじ}伝福岡市周船寺出土「^{きんさくびかざり}ヒスイ製勾玉付金鎖頸飾」1連



(国指定重要文化財、公益財団法人白鶴美術館蔵)

日本国内で製作されたと考えられているヒスイ製勾玉が、朝鮮半島で頸飾りとして仕立て直され、再び日本にもたらされた資料である。朝鮮半島との双方向の交流を端的に示す資料である。

5. 展覧会の開会行事（開会式・内覧会）

- (1) 会 場 東京都江戸東京博物館 5階企画展示室（東京都墨田区横網 1-4-1）
- (2) 日 時 平成30年10月22日（月） ※休館日、企画展開幕の前日
午後2時より3時30分まで （受付：午後1時30分より）
- (3) 内 容
 - ・開会式（主催者あいさつ、来賓祝辞、テープカット）
 - ・内覧会（来賓向けおよび報道関係者向け）

6. 九州国立博物館での巡回展開催

ほぼ同内容の展覧会を、九州国立博物館でも開催します。

- (1) 名 称 文化交流展特集展示 「玉 ―古代を彩る至宝―」
- (2) 会 場 九州国立博物館 文化交流展示室（福岡県太宰府市石坂 4 丁目 7-2）
- (3) 会 期 平成31年1月1日（火）～2月24日（日）
- (4) 内 容 江戸東京博物館会場の作品から、国宝・重要文化財を除いたもの

7. 研究成果図書の刊行

- (1) 書 名 「玉 ―古代を彩る至宝―」
- (2) 編 集 古代歴史文化協議会
- (3) 仕 様 A5判、フルカラー、本文229ページ
- (4) 刊行頒布 一般書店等で入手可能。頒価1,800円（税別）

重要文化財 伝福岡市周船寺出土（福岡県）ヒスイ製勾玉付金鎖頸飾
公益財団法人 白鶴美術館蔵

奥才34号墳（島根県）碧玉製勾玉
松江市教育委員会蔵

企画展

玉 TAMA

—古代を彩る至宝—

上野1号墳（島根県）メノウ製勾玉
島根県埋蔵文化財調査センター蔵



車駕之古址古墳（和歌山県）金製勾玉
和歌山市教育委員会蔵



西都原11号墳（宮崎県）
ガラス製小玉と勾玉・管玉
宮崎県立西都原考古博物館蔵



Tokyo Tokyo
FESTIVAL

平成30年

10月23日(火) - 12月9日(日)

東京都江戸東京博物館 常設展示室内 5F企画展示室

開館時間／午前9時30分～午後5時30分

土曜は午後7時30分まで。入館は閉館の30分前まで。

休館日／月曜日

主催／東京都、東京都江戸東京博物館、古代歴史文化協議会（埼玉県、石川県、福井県、三重県、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、福岡県、佐賀県、宮崎県）

常設展観覧料でご覧になれます。

 **江戸東京博物館**
EDO-TOKYO MUSEUM
www.edo-tokyo-museum.or.jp



重要文化財 酒巻14号墳（埼玉県）
玉飾りを身につけた人物埴輪
行田市郷土博物館蔵



玉(TAMA)をつなぐ地、魂がつなぐ時。

本展は、古代歴史文化とゆかりの深い14県からなる古代歴史文化協議会と共同で開催します。古代歴史文化協議会の共同調査研究「古墳時代の玉類」の成果をもとに、古代の玉の歴史的意義をわかりやすく展示します。

古来より人々は、身を飾る美しさだけでなく、魂・霊(タマ)に通じる神秘性を見だし、玉を特別な存在として大切に取り扱いってきました。古代の権力構造や地域間関係、さらには精神世界を解明するうえで、玉は極めて重要な手がかりとなります。

本展は、全国各地から選りすぐった国宝・重要文化財を含む古墳時代の出土玉類を中心に構成します。いにしえの人々の美意識の結晶ともいえる玉を通して、古代日本の歴史・文化を広く紹介します。



国宝 藤ノ木古墳(奈良県) 銀製鍍金空玉
文化庁蔵

展示構成

- 第1章……………玉の源流
- 第2章……………玉作りの技術
- 第3章……………玉飾りの世界
- 第4章……………海を渡る玉
- エピローグ……………玉のゆくえ



重要文化財
伝湯梨浜町出土(鳥取県) 子持勾玉
鳥取県立博物館蔵



重要文化財
雨の宮1号墳(石川県) 緑色凝灰岩製腕輪
中能登町教育委員会蔵



重要文化財
宮山古墳(兵庫県) 金製垂飾付耳飾
姫路市教育委員会蔵

関連事業

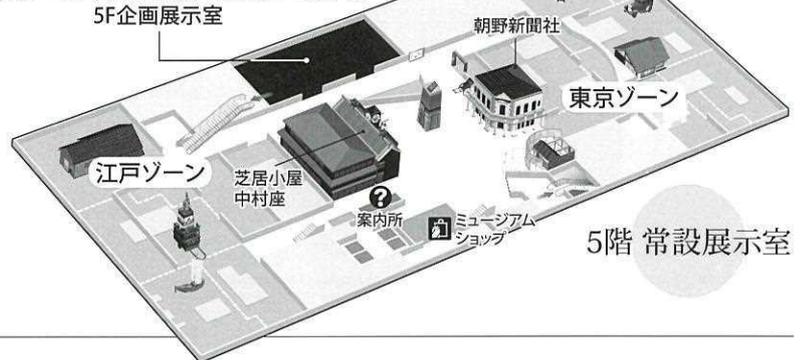
連続ミニ講座

「古墳時代の玉類 ～14県の玉文化～」
日時：会期中の毎週土曜日 午後5時から40分程度
毎週日曜日 午後4時から40分程度
※常設展示室5階、中村座前にて

ミュージアム・トーク(展示会見どころ解説)

日時：10月26日、11月9日・23日(各金曜日)
午後4時から30分程度
※常設展示室5階、日本橋下にお集まりください。

企画展「玉-古代を彩る至宝-」会場



常設展観覧料

一般	600円(480円)
大学生・専門学校生	480円(380円)
中学生(都外)・高校生・65歳以上	300円(240円)
中学生(都内)・小学生以下	無料

企画展は常設展観覧料でご覧になれます。

- ※()内は20名以上の団体料金。
- ※中・高・大学・専門学校生の方は学生証を、65歳以上の方は年齢を証明できるものをご呈示ください。
- ※次の場合は常設展観覧料が無料です。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付き添いの方(2名まで)。
- ※シルバーデー(11月21日)は、65歳以上の方は常設展観覧料が無料です。年齢を証明できるものをご呈示ください。
- ※家族ふれあいの日(11月17日・18日)は、18歳未満のお子様をお連れの方(都内在住)2名の料金が半額となります。

